

# 第 54 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2018. 12. 10 薦田 麻莉子

## 『過活動膀胱治療薬

### ベオーバ錠 50mg』

杏林製薬株式会社 野村 慶一さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢 丞先生、内科職員さん、熊山 ともみ、木村 亜希子、味田村 俊次、  
松下さゆり、波間 薫、安元 稔子、青木 風香、薦田 麻莉子

過活動膀胱（頻尿・失禁）の治療薬は主に抗コリン薬、 $\beta 3$  アドレナリン治療薬、フラボキサート、三環系抗うつ薬を使われることがある。抗コリン薬に特徴的な副作用である口腔内乾燥や便秘がほとんど認められない $\beta 3$  アドレナリン治療薬ベオーバ錠を学んだ。

#### 【効能・効果】

過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁

#### 【慎重投与】

- (1) 重篤な心疾患のある患者（心拍数増加等により症状が悪化することがある。）
- (2) 高度の肝機能障害のある患者（血中濃度が上昇するおそれがある。）

#### 【用法・用量】

通常、成人にはビベグロンとして 50mg を 1 日 1 回食後に経口投与する。

#### 【相互作用】

ビベグロンは CYP3A4 または P-糖タンパクの基質であることが示唆されているため、ケトコナゾールと併用したとき、ビベグロンの血中の濃度が上昇したとの報告がある。

### 【副作用】

口腔内乾燥、便秘各 11 例 (1.2%)、尿路感染 (膀胱炎など)、残尿量増加各 6 例 (0.7%)、肝機能異常、CK (CKP) 上昇各 3 例 (0.3%) であった。なお重大な副作用として尿閉 (頻度不明) が報告されている。

### 【特徴】

・膀胱の  $\beta 3$  アドレナリン受容体に選択的に作用することで膀胱弛緩を示し、蓄尿機能を更新させる一方で、排尿機能には影響をおよぼしにくいという特徴を有している

・ 類薬ミラベグロン (商品名: ベタニス) と比較して、「生殖可能な年齢の患者には投与をできるだけ避ける」という警告がないことや、薬物相互作用が少なく併用禁忌薬がない

・  $\beta 3$  アドレナリン受容体作動薬だがバイタルサインの影響が小さい

### 【考察】

添付文書上、用法用量が 1 日 1 回食後ときまっており、服薬指導の際に患者が食事を抜かない用法時点になっているか確認する必要がある。もし、食事を抜いてしまう用法時点ならば医師に疑義照会を行うようにしたい。

重大な副作用として尿閉が報告されており海外の試験で 1 例との報告だが、万が一効果がすぎて尿がでなくなるようならすぐに受診をと説明していきたい。

### 【質疑応答】

問: 1 日 1 回食後服用となっているが、食後ならどのタイミングの服用でもいいのか。

答: 特に問題なし。

問: 食前服用ではだめなのか

答: 空腹時に服用でも大きな副作用はなかったが臨床試験は食後でおこなったため基本的には食後を推奨。